

天敵による雑草防除

第4回アジア太平洋地域雑草防除研究会(A PWSS)が、来る3月12日から5日間、ニュージーランドで開催されるに当たって、本協会はこのに出席を兼ねて、ハワイ、フィジー、ニュージーランド、オーストラリア、フィリピンの雑草事情視察団を企画したところ、各方面の賛同を得て、30名余の応募があった。これらの地方では、我が国では余りその例がない、天敵による雑草防除に成功した例が少なくないので、こう言った我々の経験の少ない方面へも関心の目を向けて来ることを切望する。

私が1955年ハワイに行った時、世界最大と言われる肉牛牧場であるハワイ島のParker Ranchには、サボテン*Opuntia megacantha* Salm-Dyck がびっしりと生えて、その猛烈なとげのため、家畜が悩まされていた。ところが、1961年再びこゝを訪れたところ、さすがのサボテンがほとんど全滅状態となっていた。それは1949～1950にかけ、その天敵輸入を試みたところ、オーストラリアから入れたコナカイガラムシ*Dactylopius tomentosa* Lamarck、メイチュウ*Cactoblastis cactorum* (Berg)、甲虫*Lagocheirus funestus* Thomsonの3種がよく土着し、ひとりこれを侵すのみならず、互いにその食入を容易にしたり、病気を伝染したりして、このような大きな成果を上げたと言うことである。今回の視察団の旅程には、ハワイ島が含まれていないが、あるいはカウアイ島でもその状態を見ることが出来るかも知れない。その他、ランタナ*Lantana camara* L.に対してアツバ*Hypena jussalis* Walkerを東アフリカより、メイガ*Syngamia haemorrhoidalis*

目 次

昭和47年度水稲・畑作関係

生育調節剤試験成績概要

A 水 稲	5
B 畑 作 物	9
C 基礎試験	10

農林省農業技術研究所生理遺伝部

太 田 保 夫

昭和47年度水稲作関係

除草剤試験成績概要

<第1表>昭和47年度水稲作関

係供試除草剤一覧表 12

<第2表>昭和47年度水稲作関

係除草剤実用化判定表 23

<第3表>昭和47年度水稲作関

係実用化除草剤使用基準一覧表... 26

(財) 日本植物調節剤研究協会

新除草・調節剤 38

Gvénéeをフロリダおよびキューバより、カミキリムシ*Plagiohammus spinipennis* Thomsonをメキシコより、また*Emex spinosa* Campdに對して、アフリカで*Emex australis* Steinhを食っていた甲虫*Apion antiquum* Gyllenhalを輸入して、着々効果を収めている。

我が国でも、知らず知らずの間に混虫が雑草を防除している事実があるように思う。昔富山県でムギ類のキリウジ被害を防除するため、BHCを用いることを発見した際、これで虫を防除すると、ムギ類がややもすると厚播きになり過ぎると同時に、また雑草害に悩まされることとなった。虫が適当に過剰のムギ類を倒すと共に、雑草も防除しているものらしい。

(財)日本植物調節剤研究協会会長 河田 覚)